

## ワンランク上のシーラー

オートシーラー

NL-453PA-5・NL-453PA-10・NL-603PA-5

## 取扱説明書

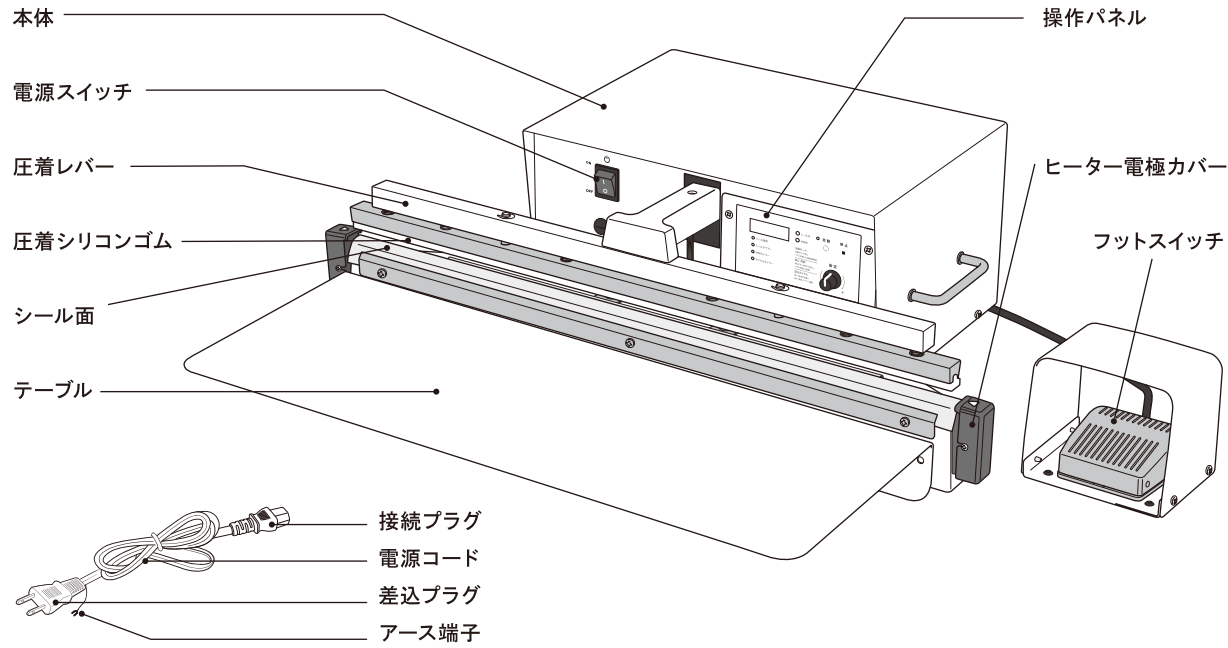
このたびはシュアオートシーラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に必ず保管してください。

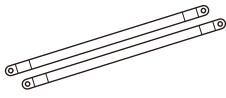
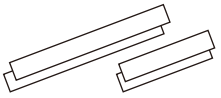
01	各部の名前	09	故障かな?と思ったら
02~03	安全上のご注意	10	仕様
04	使用上のご注意	10	補修部品
05~06	正しいご使用方法	10	アフターサービスについて
07~08	保守点検		

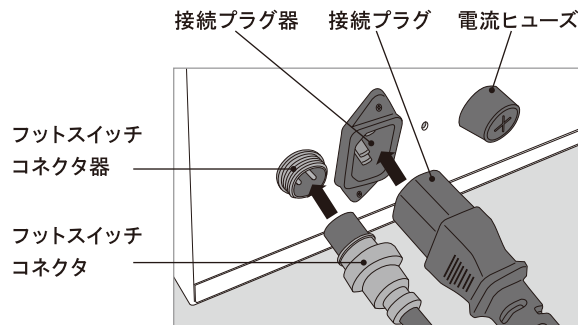


オートシーラー / NL-453PA-5

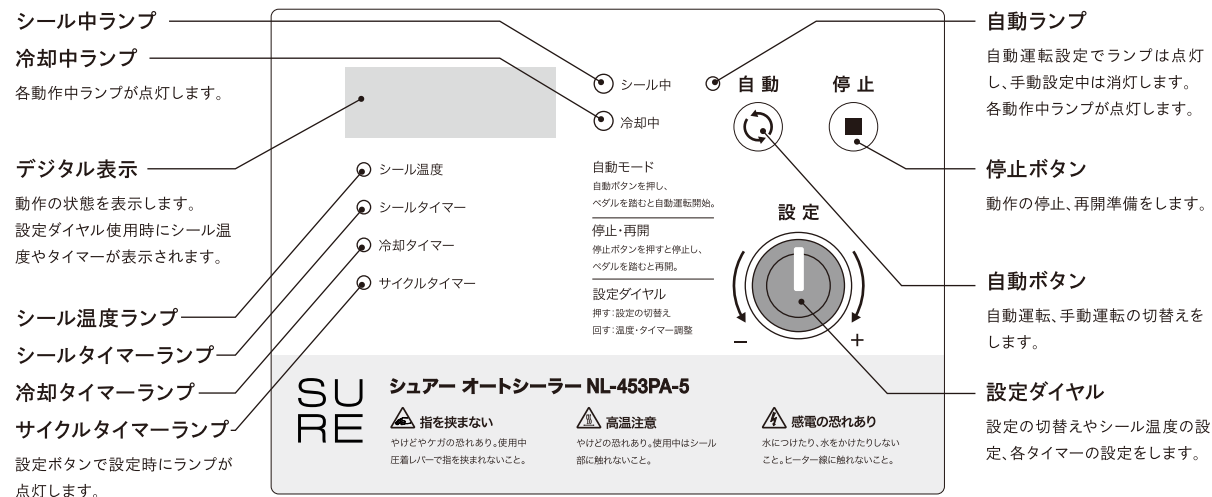
# 各部の名前



付属品	
	ヒーター 2本
	フッ素樹脂絶縁粘着テープ A: 2枚 / B: 2枚



## 操作パネルのみかた



# 安全上のご注意 (その1)

ご使用前に、注意「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。

## 警告

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

## 注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が障害を負う可能性が想定されること、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。



禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。



強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。

## 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理を行わない、また改造はしない。  
感電、漏電、異常動作による事故やけがの原因になります。



分解禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。  
やけど、感電、けがの原因になります。



禁止

火薬・揮発性引火物・燃えやすい物のあるところでは使用しない。  
火災、爆発の原因になります。



禁止

ヒーター部にドライバーなどの金属物で触れない。  
感電の原因になります。



禁止

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。



必ず行う

・電源コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。  
・コゲくさい臭いがする。  
・電源コードや差込プラグが異常に熱い。  
などの症状が出たら、すぐに販売店または「シュアーお客様ご相談センター」へ点検・修理を依頼してください。

交流100Vのコンセントを単独で使う。  
他の器具と併用した分岐コンセントは異常発熱して発火、やけどの原因になります。



必ず行う

水中で使用したり、水につけたり、水をかけたりしない。



水濡れ禁止

差込プラグ、接続プラグは根元まで確実に差し込む。  
差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。



必ず行う

## 安全上のご注意 (その2)

# 注意

本器に定められた使用目的(ビニール袋の溶着など)以外では使用しないでください。  
取扱説明書をよくお読み頂き、正しくご使用ください。



禁止

電源コードや差込プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。  
感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の差込プラグを持って引き抜く。  
感電・ショート・故障の原因になります。



プラグを抜く

使用中や使用直後はシール面に触れない。  
シール部は高温のため、やけどの原因になります。



禁止

圧着レバーとシール面の間に腕や指を挟まない。  
やけど・けがの原因になります。



禁止

通電中に本器を移動したり、傾けたり、前後に激しく動かしたりしない。やけど・落下によるけがの原因になります。



禁止

フッ素樹脂絶縁シートが破損したまま使用しない。  
感電、やけどの原因になります。



禁止

濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。  
感電の原因になります。



ぬれ手禁止

アース線をアース端子に接続しアースを必ず取る。  
感電事故の原因になります。



必ず行う

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。  
コードの異常発熱や破損により火災・感電、けが、やけどの原因になります。



禁止

ヒーター線やフッ素樹脂絶縁粘着テープの交換のときは、必ず差込プラグをコンセントから抜いて行う。  
感電、やけどの原因になります。



必ず行う

使用時以外は差込プラグを必ずコンセントから抜く。  
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・誤動作・火災の原因になります。



必ず行う

# お願い

シール作業の前に、必ず同等の袋などでシールテストを行い、設定の確認をしてください。

シール温度、シールタイマーなどを調整して溶着具合を確認してください。  
材質・厚さなどによってシールができない場合があります。

ヒーター線、フッ素樹脂絶縁シート、フッ素樹脂絶縁粘着テープ、圧着シリコンゴムは消耗品です。  
ご使用前に必ず確認して頂き消耗している場合は、新品と交換してください。

連続使用の場合は定期的に本器を休ませてください。

内部機器(トランスなど)が発熱し、本体が熱くなります。

各製品の寿命も著しく低下しますので本体が冷めるまで休ませるようにしてください。

圧着レバーの圧着シリコンゴム表面、シール面はつねに清潔にしてください。

ゴミ、汚れなどの付着物、傷、へこみなどがあるときれいにシールができません。

センサーの下に貼ってあるフッ素樹脂絶縁粘着テープ、シリコン粘着テープを交換する場合は弊社へ修理に出してください。  
温度センサーの動作確認が必要となります。

必ず定期点検を実施してください。

使用頻度 約30,000～50,000回または1年に1度を目安としてください。

## 使用上のご注意

使用開始前に必ず設置場所、本器各部の点検を行い、最後に通電テストをして異常がない事を確認してください。

万が一異常がある場合は、修理技術者の方が修理を行うか、お買い上げ店、又は弊社「シユアーお客様ご相談センター」にご連絡ください。

### 使用上のポイント

- シール温度の設定、シール時間の設定は材質、厚さなどにより異なりますので、設定ボタンで調整してください。
- シール温度が低く、シール時間が短いとシール部は弱くなります。また、シール温度が高く、シール時間が長くとシール部は溶けて均一にできません。最初は低めのシール温度、短めのシール時間に設定し、シール状態を見ながら数値を徐々に上げて適切な設定値にしてください。

設定ダイヤルの調節範囲

シール温度	シールタイマー	冷却タイマー	サイクルタイマー
80～250℃	0.3～3.5 秒	0.3～7.0 秒	1.0～10.0 秒

- 冷却時間を十分とってください。冷却タイマー時間はシールタイマー時間の2倍の時間にするのが目安です。  
例：シールタイマー時間1秒のとき、冷却タイマー時間は2秒です。冷却時間が短いとシールが均一できれいに仕上がりにません。
- 作業の際、シール中ランプが消えた後、冷却中ランプが点灯し、さらに冷却中ランプが消灯し、圧着レバーが上がると、シール完了です。
- 本器のシール面と圧着シリコンゴム表面は常にきれいな状態にしてください。汚れている、焦げている、傷付いたりしているとシールがきれいに仕上がりにません。
- 連続してシール作業をされるときは、次第に余熱が加わるためシールが不安定になることがあります。途中でシール温度を下げ、シールタイマー時間を短くしていただくと、きれいなシール状態を維持できます。
- ヒーター線は各機種に合わせた専用設計になっていますので、必ず指定のヒーター線をご使用ください。

- 本器は瞬時的に電流を流し、ヒーター線を発熱させビニールフィルムをシールする機器です。シール可能なフィルムの厚さは下記のとおりです。数値は2枚以上かさねた合計の厚さです。周囲の環境により条件が変わることがありますので、シール状態を確かめながら調整してください。ラミネートのシール可能なフィルムの厚さは別途ご相談ください。

シール可能フィルムの厚さ

型番	フィルム	ポリエチレン(PE)	ポリプロピレン(PP)	ラミネート
NL-453PA-5	0.6mm以下	0.4mm以下		対応
NL-453PA-10				
NL-603PA-5				

# 正しいご使用方法

## 事前準備:

01. 本体を安定したテーブルの上などに置きます。
02. フットスイッチに4本の止めネジで保護カバーを取り付けます。(図1)  
フットスイッチに保護カバーをかぶせ、左右を4本のネジで取り付けます。
03. 電源コード、接続プラグ、フットスイッチコネクタを差し込む。  
本体背面にある接続プラグ器に電源コードの接続プラグを、フットスイッチコネクタ器にフットスイッチコネクタを奥までしっかり差し込みます。
04. 差込プラグを100Vのコンセントに差し込み、アース端子をコンセントのアース線につなぎます。
05. 電源スイッチをONにします。  
操作パネルのデジタル表示に"on"と表示されます。(図2)
06. シール温度、シールタイマー、冷却タイマー、サイクルタイマーを設定します。  
設定ダイヤルを1回押すと、シール温度ランプが点灯しデジタル表示に設定温度が表示されます。この状態で設定ボタンを右に回すと温度は上がり、左に回すと温度は下がります。(図3)  
さらに設定ダイヤルを1回押すと、シール温度ランプは消灯しシールタイマーランプが点灯し、デジタル表示にシール設定時間が表示されます。  
以下同じように設定ダイヤルを押して、冷却タイマー、サイクルタイマーで冷却時間、サイクル時間を設定します。

### 07. シール温度・時間の設定目安

	NL-453PA-5	NL-453PA-10	NL-603PA-5
シール温度(°C)	シール時間(秒)		
100	1.0	1.0	1.5
150	1.5	1.5	2.0
200	2.0	2.0	2.5
250	2.5	2.5	3.0

注: 冷却時間はシール時間の2倍に設定してください。  
冷却時間が足りないとききれいなシールができません。

図1

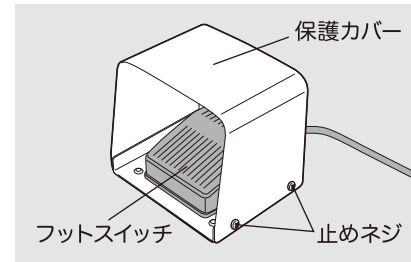
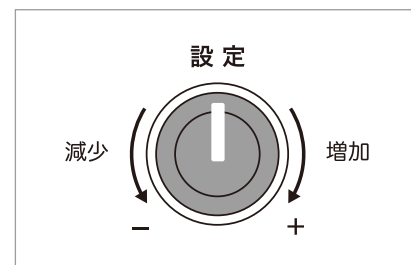


図2



図3



## シールテスト:

08. シールする同等のフィルムでシールテストをします。  
シールする部分がしわにならないよう軽くフィルムを左右に張り、本器のシール面に置きフットスイッチを踏み込みます。フットスイッチを踏み込みと同時に圧着レバーが下り、袋のシール作業が開始されます。圧着レバーが再び上がったならシールの完了です。
09. シール状態の確認  
フィルムのシール面が均一に溶着されていたら良好です。PE袋(0.03mm×2)の場合は、シール温度150°C、シール時間1秒がおおよその基準です。シール面の溶けすぎや凹凸になっていたらシール時間を短くするとともに、冷却時間を長くしてください。シール面がまばらで弱かったらシール時間を長くするとともに、シール温度を上げてください。

## 作業開始:

10. 手動運転、自動運転を選択します。  
自動ボタンを押すと自動ランプが点灯し、フットスイッチを踏み込むと自動運転を開始します。(図4)  
停止ボタンを押すと自動運転は停止し、デジタル表示には"stop"を表示します。(図5)再度停止ボタンを押すとデジタル表示は"on"が表示され、動作準備状態になります。  
自動ボタンを再度押すと自動ランプは消灯し、フットスイッチを踏み込むと1回だけシールをして動作は停止します。
11. シール作業開始。  
シールする部分がしわにならないよう軽く袋を左右に張り、本器のシール面に置きフットスイッチを踏み込むと同時に圧着レバーが下りて袋のシール作業が開始されます。圧着レバーが上がったらシールの完了です。  
動作中はデジタル表示は— — — — と表示されます。(図6)シール動作のときはシール中ランプ、冷却動作のとき冷却中ランプが点灯します。  
注: 自動運転の場合、設定したサイクル時間が経過すると、再び圧着レバーが下りてきますので、指など挟まれぬように注意してください。

## 作業後:

12. 電源スイッチをOFFにし、差込プラグをコンセントから抜きます。
13. シール面が完全にさめてから保管します。
14. シール面がフィルムなどで汚れていたら、布で拭き取ってください。
15. 再度本器を使用する場合、シール温度、シールタイマー、冷却タイマーサイクルタイマーは前回の終了時の数値を記憶しています。

図4

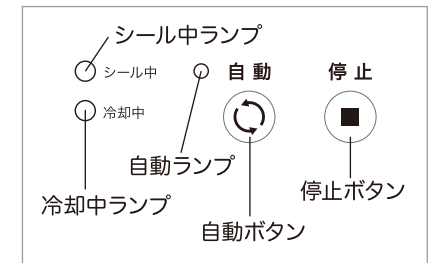


図5

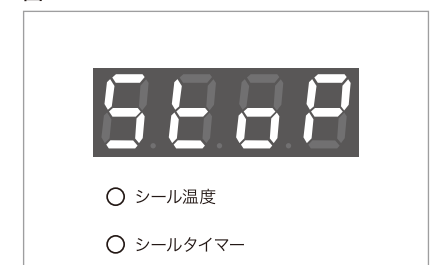
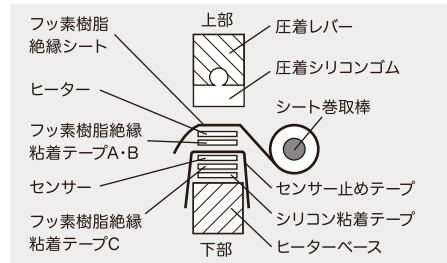


図6



作業は必ず差込プラグをコンセントから抜き、  
使用直後は本体が十分に冷めてから行ってください。

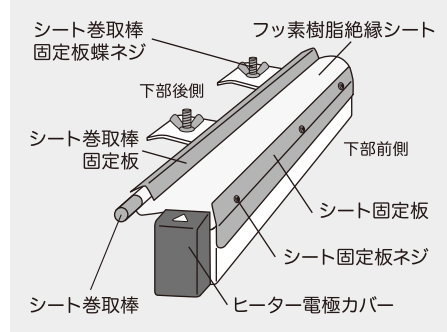
シール面の構造は右図のとおりです。消耗品交換のときは、  
右図の順番どおりに取り付けてください。  
センサー下のフッ素樹脂絶縁粘着テープC、シリコン粘着テープを交換の  
場合はセンサー調整が必要ですので、シュアーお客様ご相談センターへ  
依頼してください。



## フッ素樹脂絶縁シートの位置変更と交換

キズ、破れ、焦げや波打っているなどの症状がでたらシートの位置を変えてください。

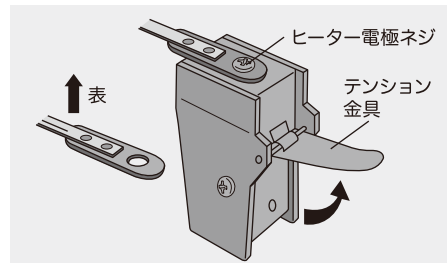
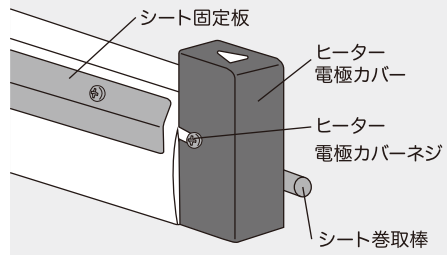
- シート固定板のシート固定板ネジを緩め、フッ素樹脂絶縁シートをシート固定板から外します。
- シート巻取棒固定蝶ネジを緩め、フッ素樹脂絶縁シートを手前に引き出し、劣化したフッ素樹脂絶縁シートを切り取ります。
- 引き出した新しいフッ素樹脂絶縁シートをシート固定板に挟み、シート固定板ネジで締めて固定します。
- シート巻取棒を回してフッ素樹脂絶縁シートを均等に張り、シート巻取棒固定板をシート巻取棒固定蝶ネジで固定します。
- フッ素樹脂絶縁シートがなくなったら、新しいフッ素樹脂絶縁シートをシート巻取棒に巻き付け03,04の方法で取り付けます。



## ヒーター線交換

断線、凹凸や波打っているなどの症状がでたら交換してください。

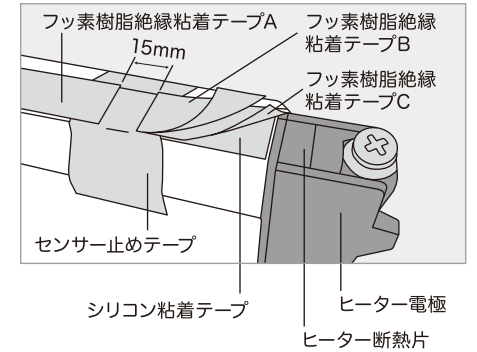
- フッ素樹脂絶縁シートを外します。
- ヒーター電極カバーネジ(両側)を緩め、ヒーター電極カバーを外します。
- テンション金具を90度程度起こしてからヒーター電極ネジを外し、ヒーター線両端を電極から外します。
- 新しいヒーター線をヒーター電極ネジで取り付け、テンション金具を元に戻します。  
注:ヒーター線の表裏の向きは端子が下にくるように取り付けてください。
- ヒーター電極カバーをヒーター電極カバーネジ(両側)で締め付けて固定します。
- フッ素樹脂絶縁シートを取り付けます。



## フッ素樹脂絶縁粘着テープA・Bの交換

キズ、破れ、焦げや波打っているなどの症状がでたら交換してください。

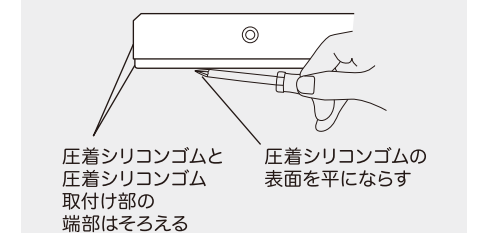
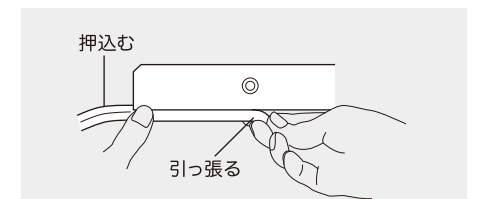
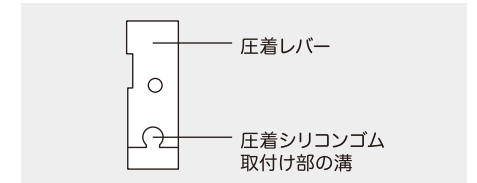
- フッ素樹脂絶縁シートとヒーター線を外します。
- 古いフッ素樹脂絶縁粘着テープA・Bを剥がし、新品と交換します。  
注1:フッ素樹脂絶縁粘着テープA・Bを剥がすとき、本器ヒーター面右端にあるセンサー止めテープは剥がさないように十分注意してください。  
注2:ヒーター断熱片と一緒に外れる場合がありますので、なくさないよう気をつけてください。  
注3:フッ素樹脂絶縁粘着テープはシワにならないように貼ってください。  
注4:フッ素樹脂絶縁粘着テープA・Bはセンサー部の上を15mmほど開けて貼ってください。  
注5:フッ素樹脂絶縁粘着テープA・Bはヒーター電極のヒーター断熱片まで貼ってください。
- ヒーター線とフッ素樹脂絶縁シートを取り付けます。  
注:センサー止めテープ、フッ素樹脂絶縁粘着テープC、シリコン粘着テープを交換する場合は弊社シュアーお客様ご相談センターへ修理依頼をしてください。センサーの調整が必要となります。



## 圧着シリコンゴムの交換

表面が黒く変色する、凹凸になる、亀裂が入るなどの症状がでたら交換してください。

- 圧着シリコンゴムを外し、新品と交換します。
- 圧着シリコンゴムを圧着レバーの圧着シリコンゴム取付け部の溝に少し押し込みます。
- 圧着シリコンゴムの端を圧着レバーから指でつまめる程度のめくり上げてつまみ、そのままもう一方の端まで引っ張ります。
- つまみ上げた圧着シリコンゴムを、圧着シリコンゴム取付け部の溝に押し込みます。
- 圧着シリコンゴムの表面をドライバーの軸部などの丸棒で力を入れて、左右に動かし、表面を平らにします。  
注:圧着シリコンゴムの両端が圧着シリコン取付け部の両端部と同じ位置になるように注意してください。



## 故障かな?と思ったら

電源コードを確認後、コンセントに差し込み下記の状態を確認してください。  
部品交換を行うときは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

調べる ところ	症状	電源ランプが 点灯しない	デジタル表示が 表示しない	温度・タイマーが 設定できない	圧着シバーが下 らない・上がらない	熱くならない	ヒーターが 断線しやすい	ヒーターが 断線しやすい	シールがきれいに できない	原因/処置
	差込プラグ	●								プラグの根本を確認し、グラグラ動く、断線の場合は修理に してください。
	接続プラグ	●								プラグの根本を確認し、グラグラ動く、断線の場合は修理に してください。
	電源コード	●								電源コードを確認し、キズ、断線の場合は修理に してください。
	電流ヒューズ	●								電流ヒューズを確認し、断線の場合は修理に してください。
	操作パネル	●	●	●						操作パネルを交換してください。
	フットスイッチ				●					フットスイッチを踏み込んだとき、フットスイッチからカチツと 音がしない場合は交換してください。
	ヒーター線					●	●	●		断線していないか、ヒーター電極固定ネジは締まっているかを 確認してください。
	圧着シリコンゴム						●	●		焦げて固くなっていたり、キズ、凹凸があれば交換して ください。
	フッ素樹脂 絶縁粘着テープ						●	●		汚れ、破れ、変色あれば新しいものと交換してください。
	フッ素樹脂 絶縁シート						●	●		汚れ、破れ、変色あれば新しい部分を引きだしてください。
	作業状態						●	●		フィルムの材質、厚さに合わせて、シール時間、冷却時間を設定 してください。

## 仕様

型番	定格	シール寸法 幅×長さ	溶着部温度	設定時間			製品寸法 幅×奥行き×長さ	質量
				シール	冷却	サイクル		
NL-453PA-5	100V-1200W 50/60Hz	5×450mm	80~250℃	0.3 ~ 3.5 秒	0.3 ~ 7.0 秒	1.0 ~ 10.0 秒	520×360×195mm	20 kg
NL-453PA-10	100V-1450W 50/60Hz	10×450mm		520×360×195mm	23 kg			
NL-603PA-5	100V-1450W 50/60Hz	5×600mm		670×360×195mm	24 kg			

## 補修部品

### 補修部品

商品名	ヒーター線 5本入		フッ素樹脂 絶縁粘着テープ 5枚入		消耗品交換 ・ヒーター線 2本入 ・フッ素樹脂絶縁 粘着テープ 2枚入		フッ素樹脂絶縁シート 1枚入		圧着シリコンゴム 1本入	
	対応機種	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式
NL-453PA-5	型式	NPH-453P-5	型式	NPN-453A	型式	NPS-453A-5	型式	NPT-453P/S	型式	NPG-453P/S
NL-453PA-10	型式	NPH-453P-10			型式	NPS-453A-10				
NL-603PA-5	型式	NPH-603P-5	型式	NPN-603A	型式	NPS-603A-5	型式	NPT-603P	型式	NPG-603P

## アフターサービスについて

修理・お手入れなどのご相談は、お買上げの販売店へお申し付けください。または、シユアーお客様ご相談センターへお申し付けください。  
補修用性能部品の保有期間は生産打ち切り後5年です。

注:性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。